

## 雲仙市地域ふれ愛ささえ愛事業(長崎県雲仙市)

(構成：自治体)

《活動主体の概要》(平成27年4月1日現在)

総人口： 45,972人

高齢者数： 14,076人

世帯数： 17,062世帯

産業構造：平成22年の就業人口比率は、第1次産業25.3%、第2次産業20.3%、第3次産業54.4%となっています。

地理的構造：長崎県の南東部にある島原半島の北西部に雲仙普賢岳を取り囲むように位置しています。



### 活動のきっかけ

少子高齢化や核家族化など地域社会の変化等により、地域のつながりが希薄化しつつある中、個人では解決できないものや既存の福祉サービスの対象でないため解決が困難なものなど、様々な福祉課題が発生してきています。このような状況の下、公的なサービスなどでは解決できない細かな地域の問題などについて、その地域の中で支え合う地域福祉を推進する必要があり、雲仙市地域福祉計画を平成23年4月に策定しましたが、この計画の策定段階において実施した地域座談会と市民アンケートで、高齢者世帯の買い物、ごみ出しなどの生活支援と見守り活動の充実、地域における住民同士のまとまりや助け合いが乏しいことなどを課題に挙げる意見が市内全地域から出されました。

それを受け、見守り隊などの組織整備を地域福祉計画に盛り込み、身近な生活上の課題、問題について地域で取り組む地域支援グループの結成を推進することとしました。

### 活動方法

雲仙市では地域福祉計画を実行するモデル事業として、地域(自治会)内での(高

齢者や障がいのある人、子育て支援などの日常的な課題や問題など)困りごとのうち、“地域で”“わたしで”できることを支援する「地域支援グループ」結成を推進する「地域ふれ愛ささえ愛推進モデル事業」を平成24年度から3年間実施し、グループ結成に向けた話し合い経費や活動経費を助成しました。また、モデル事業終了後の平成27年度からは「地域ふれ愛ささえ愛事業」として実施し、市内全域での地域支援グループの結成を目指しています。

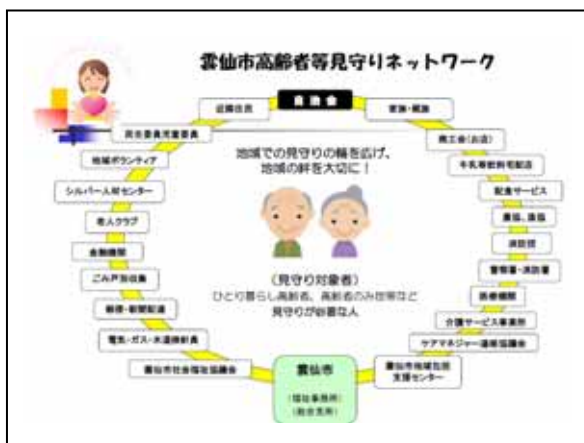
実施自治会においては、自治会長及び班長を中心に地域で話し合い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の見守り活動などを中心に、各地域の高齢者等の実情に応じた活動が無償で行っています。実施内容としては、毎月1日、15日の自治会配布物等の回覧時において、ひとり暮らしの高齢者等の顔を見る見守りや声かけなど誰でも無理なくできることから開始していただき、電球の取替えや買い物の支援など日常生活上の困りごとなどにも取り組んでいただいているグループもあります。また、台風等の接近時には積極的な声かけも実施されています。

## 工夫点

事業の推進にあたっては、自治会長会議や自治会の会合等で、高齢者の見守り活動や地域における助け合い等について意識高揚を図るとともに、民生委員・児童委員に協力を求め、地域支援グループ結成の推進を図っています。

また、支援グループ活動の初期段階においては、支援員、要支援者とも負担にならない活動が継続できるよう、普段の生活の中での見守り活動から始め、信頼関係を構築したうえで、徐々に生活支援に取り組むよう進めています。

さらに、次年度以降の活発な活動を促進するため、本事業に取り組んだ自治会及び支援グループの情報交換会を行っています。



## 成果

「地域ふれ愛ささえ愛推進モデル事業」と「地域ふれ愛ささえ愛事業」の実施により、平成27年度までに27自治会で83の支援グループが結成され、自治会や班といった身近な組織を単位とした活動が推進されたことにより、ひとり暮らしの高齢者等が安心して地域で生活できるとともに、次のような効果があります。

高齢者等の見守りや支援が必要な人を自治会全体で確認できたこと。  
地域コミュニティの再認識と活性化。

## 課題

支援グループが自治会または班を単位として結成されているため、自治会長や班長の交代により活動が途切れる恐れがあります。また、若い世代が少なく、高齢者同士で見守りを行っている地域もあり、民生委員活動との連携の強化など、活動継続のための取り組みが重要な課題となっています。

さらに、自治会未加入、ひきこもり等で生活実態の把握が困難な方の支援や病院受診や買い物支援のあり方なども課題です。

## 代表者、事業者等の声

活動を行うことで、見守る側（支援員）の意識が変わってきた。以前は挨拶のみだったが、ちょっとした会話もできるようになり、お互いに頼みやすい関係が構築された。

今まで何気なく通っていた「いつもの道」でも、途中に見守り対象の高齢者がいる場合には、「雨戸が何日も閉まったままになっていないか。」「夜には部屋の明かりがついているか。」など、“気にかける”ようになった。少数ではあるが確実に支援員の拡大もなされており、見守り活動の意識が根付いてきている。

